

## 検討結果に基づく変更点一覧

ページ	変更内容	変更理由
3	<p>○第4段落3行目から</p> <p>≪国全体の平成22年度（2010年度）の温室効果ガスの総排出量は、基準年比0.4%減となっています。森林吸収量の確保及び京都メカニズムクレジットの取得は計画されていた水準を達成できる見込みで、これらを加味した場合、平成20年度（2008年度）から平成22年度（2010年度）までの3か年においては、単年度ベースで削減約束を約5%超過達成している状況です。一方で、第一約束期間の残り2年間である平成23、24年度については、東日本大震災後の原子力発電の稼働状況、節電等による電力需要の状況、気象状況などの予見が困難な要因に大きく影響を受けると考えられます。≫</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>≪国全体の平成22年度（2010年度）の温室効果ガスの総排出量は、基準年比0.2%減となっていたが、平成23年度（2011年度）は基準年比3.6%増となっています。これは、東日本大震災の影響等により製造業の生産量が減少する一方、火力発電の増加によって化石燃料消費量が増加したことなどが理由として考えられます。しかし、森林吸収量の確保及び京都メカニズムクレジットの取得は計画されていた水準を達成できる見込みで、これらを加味した場合、平成20年度（2008年度）から平成23年度（2011年度）までの4か年においては、単年度ベースで削減約束を約3%超過達成している状況です。≫</p>	<p>・平成22年度速報値を基に文章を作成していましたが、平成22年度確定値が公表されたこと及び平成23年度速報値が公表されたことを踏まえて文章を再作成しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
4	<p>○第2段落から</p> <p>≪平成6年12月に第一次環境基本計画が策定され、平成12年12月に第二次計画、そして平成18年に第三次環境基本計画が策定されました。</p> <p>第三次の計画では『持続可能な社会の構築』が前提とされ、『「環境効率性の向上、環境と経済の好循環の実現」など環境的側面、経済的側面、社会的側面の統合的な向上』や『地域コミュニティ再生』という方向性が示されました。</p> <p>また、地球温暖化問題等事象別の重点分野政策に加え、横断的な分野として「環境の価値が評価される市場づくり」、「環境保全の人づくり・地域づくり」、「科学技術、環境情報、政策手法等基盤の整備」、「国際的取組の推進」の4つが挙げられています。≫</p> <p>及び「第三次計画の重点政策プログラム」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>≪平成6年12月に第一次環境基本計画、平成12年12月に第二次環境基本計画、平成18年4月に第三次環境基本計画がそれぞれ策定され、平成24年4月には第四次環境基本計画が策定されました。</p> <p>第四次の計画では、『持続可能な社会』を実現する上で重視すべき方向として、「政策領域の統合による持続可能な社会の構築」、「国際情勢に的確に対応した戦略をもった取組の強化」、「持続可能な社会の基盤となる国土・自然の維持・形成」、「地域をはじめ様々な場における多様な主体による行動と参画・協働の推進」が示され、それに基づく優先的に取り組む重点分野として、9項目が挙げられています。また、『震災復興、放射性物質による環境汚染対策』についても記載されています。≫</p> <p>及び「9つの優先的に取り組む重点分野」</p>	<p>・平成24年4月に国の第四次環境基本計画が策定されたことを踏まえ、文章を再構成しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
5	<p>○全面修正</p> <p>《平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、多くの死者・行方不明者の発生、住宅・工場の被災や各種インフラの被害による経済活動の停滞を引き起こしました。</p> <p>この震災に伴う福島第一原子力発電所の事故を契機として、「電源のベストミックス」に関する議論が盛んに行われるようになっていきます。「電源のベストミックス」とは、一つのエネルギー源に過度に頼ることなく、既存の火力発電や水力発電、原子力発電などに自然エネルギーも合わせ、それぞれの特徴を十分に考え、バランスよく組み合わせ、安全性・経済性・安定性を確保した電力供給を図る考え方です。その中では、原子力のリスク管理のあり方とともに、エネルギー政策と温暖化対策を一体的に見直す必要があるとされており、そうした背景もあって、震災後は省エネルギーへの取り組みや、再生可能エネルギーに対する市民の意識も大きく変わってきています。</p> <p>一方、福島第一原子力発電所の事故は、環境面でも深刻な問題を引き起こしました。原子炉の水素爆発により、大量の放射性物質が環境に放出され、住民が避難するという事態となり、特に一部地域の住民は安全で安心できる生活を取り戻すまでに、なお相当期間を要する状況になっているなど、大きな社会問題となっています。これら放射性物質による環境の汚染は、これまで日本が経験したことの無い、最も深刻な環境問題となっており、汚染された廃棄物の処理や土壌等の除染への対応が喫緊の課題となっています。</p> <p>上田市においても、放射性物質の影響を懸念する声があり、平成 23 年 8 月から上田市として独自の空間放射線量の測定を開始しましたが、今後とも継続的に実施することが求められています。》</p>	<p>・現在の状況を踏まえ、エネルギーに関することと放射性物質に関することとに内容を分け、文章を再構成しました。</p>
7	<p>3 計画の位置付け 図中</p> <p>【国・県の計画など】 2 行目</p> <p>《第三次環境基本計画》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《第四次環境基本計画》</p>	<p>・平成 24 年 4 月に、国の第四次環境基本計画が策定されているため、修正しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
8	<p>4 計画の期間 第3段落</p> <p>《<u>また、計画の中間年度である平成25年度に、</u>計画の中期達成状況の評価を行い、社会動向等を見据え、中間見直しを行いました。》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《<u>なお、</u>計画の中期達成状況の評価を行い、社会動向等を見据え、中間見直しを行いました。》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>
9	<p>図中 【市】</p> <p>【①市の環境の保全及び創造に<u>資する</u>環境施策の立案・実施】</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【①市の環境の保全及び創造に<u>向けた</u>環境施策の立案・実施】</p>	<p>・表現について修正しました。</p>
13	<p>○文章を全面修正</p> <p>《上田市は、長野県の東部に位置し、北は長野市、千曲市、須坂市、坂城町、筑北村、西は松本市、青木村、東は嬭恋村（群馬県）、東御市、南は長和町、立科町と接しています。東京からは約190km、新幹線で最短72分で結ばれており、長野市からは約40kmの位置にあります。</p> <p>市内には、日本一の大河である千曲川（新潟県から「信濃川」）が佐久盆地から流れ込み、中心部を横断し、日本海へと流れていきます。</p> <p>北部に位置する菅平高原一帯は上信越高原国立公園に指定され、日本百名山に数えられている四阿山や根子岳が位置しています。また、南部に位置する美ヶ原高原一帯は八ヶ岳中信高原国定公園に指定され、2,000m級の山々が連なっています。》</p>	<p>・後期基本計画に合わせ、文章を全面修正しました。</p>
14	<p>○第1段落を修正</p> <p>《上田市の気候は、昼と夜の気温較差が大きい典型的な内陸性気候で、年平均降水量は900mm前後と全国でも有数の少雨地帯です。積雪も、山間地以外の地域では、10cmを超えることはまれで、晴天率が高く、快適に暮らすことができる気候特性です。》</p>	<p>・後期基本計画に合わせ、文章を修正しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
15	<p>○第1から第5段落まで文章を修正</p> <p>《上田市には、菅平高原と美ヶ原高原の南北2つの信州を代表する高原のほか、太郎山や独鈷山など市民に親しまれている多くの里山があります。これらの里山の多くは、県指定の郷土環境保全地域となっており、周辺的生活環境を含め優れた自然環境として保全されています。</p> <p>千曲川沿岸の平地は落葉広葉樹が多い低山帯、また菅平高原や美ヶ原高原などは亜高山帯や高山帯となっており、幅広い地形地質により多種多様な植生と、多くの動物が生息しています。</p> <p>絶滅危惧種の植物としては、亜高山帯に生育するホテイランが県の「特別指定希少野生動植物」として、また、ツキヌキソウ、キバナノアツモリソウ、オキナグサ、ヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク、サクラソウが「指定希少野生動植物」として指定されており、保護が進められています。また、千曲川を挟む、半過岩鼻と下塩尻岩鼻の大岩壁には、モイワナズナが自生しており、本州ではここでしかみることができない貴重な植生となっています。</p> <p>動物では、イヌワシが生育しており、これらは「特別指定希少野生動植物」として、県の条例で捕獲等が禁止されています。また、菅平高原や美ヶ原高原で見られるミヤマシロチョウやミヤマモンキチョウ、オオイチモンジなども、県の希少野生動植物として、捕獲等が禁止又は制限されています。</p> <p>その他、国の天然記念物であるヤマネをはじめ、オコジョやヤマメ、ヤリタナゴなど多くの貴重生物種が生息しているほか、国蝶のオオムラサキや市指定文化財のマダラヤンマなども見られ、さまざまな動物を身近に感じることができる豊かな自然環境となっています。》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>
16	<p>○第3段落</p> <p>《市内の販売農家数は、過去20年間で<u>約半数</u>に減少しており、》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《市内の販売農家数は、過去20年間で<u>半数以下</u>に減少しており、》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
17	<p>○文章を修正</p> <p>《市民向けに実施したアンケートによると、約 6 割の人が上田市の空気はきれいであると感じています。しかしながら、「そう思わない」、「あまりそう思わない」という回答が主に上田地域と丸子地域から寄せられ、それらの地域の一部では空気が汚れていると感じている市民もいます。実際に上田地域で最も苦情が多いのは、大気汚染に関するものとなっています。</p> <p>大気に関しては、上田合同庁舎と国道 18 号上田バイパスが通る常磐城で大気汚染物質の常時監視が行われており、おおむね環境基準を達成しています。また、騒音・振動については、自動車騒音の常時監視をしており、一部基準値が満たされていない状況です。</p> <p>大気汚染物質や騒音・振動の原因は、主に自動車や工場とされています。</p> <p>上田市は、JR 長野新幹線やしなの鉄道、上田電鉄別所線など県内でも鉄道網が発達している地域です。これら公共交通の利用促進と駅周辺に駐車場や駐輪場の設置などパークアンドライドを実施し、大気汚染や騒音・振動の防止に努めています。》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>
18	<p>○第 3 段落</p> <p>《また、一部地域の井戸水においても硝酸性窒素<u>の</u>環境基準を超過している井戸が発見されています。》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《また、一部地域の井戸水においても硝酸性窒素<u>が</u>環境基準を超過している井戸が発見されています。》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
19	<p>○第3段落</p> <p>《ダイオキシンについては、環境基準値の0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下を達成しており、<u>過去15年間で、大幅に改善されている状況です。</u>ダイオキシンは、主にごみの焼却に伴って発生することから、一定の構造基準を満たさない焼却炉の撤廃や野焼きの禁止などの対策が進められていること<u>に対する</u>効果が考えられます。》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《ダイオキシンについては、環境基準値の0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下を達成しており、<u>過去10年間でも減少傾向にあります。</u>ダイオキシンは、主にごみの焼却に伴って発生することから、一定の構造基準を満たさない焼却炉の撤廃や野焼きの禁止などの対策が進められていること<u>による</u>効果が考えられます。》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>
21	<p>第5段落</p> <p>《また、「<u>花の種銀行(フラワーバンク)</u>」を設立し、》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《また、「<u>花の種銀行</u>」を設立し、》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>
22	<p>第6段落</p> <p>《近年不法投棄に関する苦情は増加しており、発見件数も増加しています。》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>削除</p>	<p>・データからは増加しているとは言えないため削除しました。</p>
23	<p>○第1段落</p> <p>《<u>上田市役所の本庁舎</u>から排出されて》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《<u>上田市の各庁舎・施設</u>から排出されて》</p>	<p>・データの変更により修正しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
24	<p>○文章を全面修正</p> <p>《環境に対する負荷を少なくするためには、生産・流通・消費・廃棄の各段階で廃棄物を限りなくゼロに近づける資源循環型社会の構築が必要です。</p> <p>上田市では、平成 22 年度で 48,390t、一人当たり約 304kg のごみが出されています。これは平成 17 年度と比較して、総排出量で 8,407t、一人当たり 47 kg の減少になりますが、上田地域広域連合が計画する資源循環型社会を実現するためには、更なるごみの減量化が必要となっています。</p> <p>市民のごみ分別・リサイクルに対する意識は高まっていますが、更なるごみ排出量の削減を進めるため、上田市では、可燃ごみ排出量削減を目指して、生ごみ堆肥化のモデル事業に取り組むとともに、一般家庭への生ごみ堆肥化機器購入補助、ごみ減量アドバイザーによるごみ分別やリサイクル活動を進めています。》</p> <p>○課題</p> <p>《資源化、リサイクルの仕組みの構築が重要です。》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《<u>上田地域広域連合が計画する資源循環型施設の早期実現を図り、ごみの減量化と資源化、リサイクルの仕組み作り</u>に取り組むことが重要です。》</p>	<p>・現状を踏まえて、文章を全面修正しました。</p>
25	<p>○第 2 段落 4 行目</p> <p>《うえだ環境市民会議を統括する企画運営会議では、<u>環境フェアや環境学習講演会</u>などが行われているほか》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《うえだ環境市民会議を統括する企画運営会議では、環境学習講演会などが行われているほか》</p>	<p>・うえだ環境市民会議が環境フェアを行っているわけではないため、修正しました。</p>
29	<p>○枠内文中第 5 段落</p> <p>《<u>自然環境は、従来の姿を保つために、人が関わりあいをもつことが重要であると考えます。</u>》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《<u>自然環境が、本来の姿を保つためには、人が関わりあいをもつことが重要です。</u>》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
30	○基本目標Ⅲ 4行目 ≪エネルギー資源をもっている可能性が大いにあります。≫ ↓ ≪エネルギー資源を活用できる可能性が大いにあります。≫	・賦存量は確認されているため、表現を変更しました。
31	空白ページを削除	・ページ調整のため空白ページを削除しました。
34	○環境指標 ≪「循環バス利用者数」、「しなの鉄道市内4駅乗降者数」、「レンタサイクルの利用者数」≫を追加	・委員からの意見をもとに担当課と協議を行い、指標を追加しました。
37	○写真【○別所線】を追加	・ページ調整のため写真を追加しました。
38	○最下行 ≪カリウム40が放射線量に最も寄与していることが判明しております。≫ ↓ ≪カリウム40が多く、原発事故とは無関係であることが判明しております。≫	・表現について修正しました。
40	○指標No.の修正	・指標No.を修正しました。
44	○環境指標 ≪「松くい虫被害木の処理量」≫を追加	・委員からの意見をもとに担当課と協議を行い、指標を追加しました。
47	○環境指標 ≪「農業用用水路の多自然型水路整備箇所」、「多自然型河川整備状況」≫ ↓ ≪「農業用用水路の多自然水路整備箇所」、「多自然河川整備状況」≫	・表現について修正しました。
49	○第2段落 ≪市内の農家数は、過去20年間で4割減少しており、≫ ↓ ≪市内の農家数は、過去20年間で約3割減少しており、≫	・資料を確認し、修正しました。

ページ	変更内容	変更理由
52	<p>○文章を全面修正</p> <p>《環境に対する負荷を少なくするため、生産・流通・消費・廃棄の各段階で廃棄物を限りなくゼロに近づける資源循環型社会を構築していく必要があります。この理念に基づき、資源を循環し、廃棄物を適正に処理できる体制作りを進めるため、上田地域広域連合が策定したごみ処理広域化計画に従い、資源循環型施設の建設に最大限の努力をいたします。</p> <p>また、ごみの減量化や再利用、更に家庭や事業所単位での環境負荷軽減を進めるため、市民や事業者に着実に定着しつつある分別収集・リサイクル活動を更に推進していきます。》</p>	<p>・現状を踏まえて、文章を全面修正しました。</p>
53	<p>○施策① 資源循環型ごみ処理施設の整備を修正</p> <p>《平成 21 年 10 月に上田地域広域連合が策定したごみ処理広域化計画に基づき、資源循環型施設の建設に最大限努めます。</p> <p>・埋め立て処分している焼却灰についてもリサイクルを進めていきます。》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>
53	<p>○施策② 全面修正</p> <p>《上田地域広域連合ごみ処理広域化計画の可燃ごみ削減目標の達成を目指します。》を追加</p>	<p>・項目を整理し、修正しました。</p>
54	<p>○写真タイトルの変更</p> <p>《「○<u>資源回収の様子</u>」「○<u>エコハウスとぱっくん</u>」》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《「○<u>ウィークエンドリサイクルの様子</u>」「○<u>エコ・ハウスとぱっくん (生ごみ堆肥化基材)</u>」》</p>	<p>・表現について修正しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
55	<p>○文章を全面修正</p> <p>≪地球温暖化問題への対応は、年を追うごとに重要性や緊急性が高まりを見せており、その実行は次世代に対する責務となっています。また、我が国のエネルギー問題についても、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に新たな局面を迎えており、再生可能エネルギーの利活用と省エネルギー対策は、より一層の推進が求められています。</p> <p>上田市においては、「上田市地域新エネルギービジョン」に掲げた目標に沿い、再生可能エネルギーの普及拡大に努める必要があります。特に太陽エネルギーについては、全国有数の日射量により発電に優位な地域特性を活かしたエネルギー供給源となることから、家庭用及び事業用のシステム設置の普及促進とともに、民間活力による大規模発電事業への取り組みも重要となります。</p> <p>また、再生可能エネルギー、省エネルギーに対する市民の関心も高いことから、市民参加による地球温暖化防止活動を積極的に進めていきます。≫</p>	<p>・現状を踏まえて、文章を全面修正しました。</p>
55	<p>○環境指標</p> <p>≪「一般家庭の太陽光発電設備最大出力」、「民間企業の太陽光発電設備最大出力」≫を追加し、No.を修正</p> <p>○写真「上田駅お城口の太陽光発電パネル」を削除</p>	<p>・現状を踏まえて、指標を追加しました。</p>
56	<p>○施策①</p> <p>≪・<u>新市における地球温暖化防止実行計画</u>を策定し、率先して省エネルギー行動を推進していきます。</p> <p>○新エネルギーの活用<u>検討</u></p> <p>・<u>新エネルギービジョン</u>を策定し、<u>市域における新エネルギーの利用可能性の調査</u>を行います。</p> <p>・<u>水道施設内の余剰水圧や小河川を利用した小水力発電の設置について研究</u>していきます。≫</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>≪・<u>地球温暖化防止実行計画</u>を策定し、率先して省エネルギー行動を推進していきます。</p> <p>○新エネルギーの活用<u>推進</u></p> <p>・<u>上田市地域新エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギーの普及拡大</u>を推進します。</p> <p>・<u>水道施設内での小水力発電設備の導入</u>を推進します。</p> <p>・<u>小河川を利用した小水力発電の設置について研究</u>していきます。≫</p>	<p>・現状を踏まえて、施策を修正・追加しました。</p>

ページ	変更内容	変更理由
56	《・緑のカーテン実施等省エネ活動を実践します。》を追加	
57	○写真「雨水マス」を削除	・内容にそぐわないため、写真を削除しました。
58	○施策① 《○雨水 <u>タンク</u> の設置推進 ・公共施設に雨水 <u>タンク</u> を設置し、雨水の有効利用に努めます。》 ↓ 《○雨水 <u>貯留槽</u> の設置推進 ・公共施設に雨水 <u>貯留槽</u> を設置し、雨水の有効利用に努めます。》	・表現を統一するため修正しました。
62	○環境指標 《「自治会への花苗配布本数」、「里山整備ボランティア」》を追加	・現状を踏まえ、指標を追加しました。
66	○環境指標 《「児童による田植えへの参加人数」、「野外活動体験教室事業参加人数」》を追加し、No.を修正	・現状を踏まえ、指標を追加しました。
83	○省エネルギーに努める 《「 <u>電球型蛍光灯</u> や省エネ家電などを選んで購入しましょう」》 ↓ 《「 <u>電球型蛍光灯</u> や LED 照明、省エネ家電などを選んで購入しましょう」に修正、 「緑のカーテン作りに取り組みましょう」を追加》	・市でも取り組みを進めている LED 照明、緑のカーテンについての記述を追加しました。
104	○検討経過（中間見直し時）を追加	・中間見直しの経過を追加しました
105	○途中交代の委員の任期について、表現を修正	・任期を西暦標記から元号標記に修正しました
106	○委員名簿（中間見直し時）を追加	・中間見直しの委員名簿を追加しました
107	○上田市環境基本計画策定関係所属（中間見直し時）に修正	・中間見直し時の組織体制に修正しました
目次	○修正	・ページを修正しました